



ひととのつながりが教えてくれた 自分でできる3つのこと

にしにほんごうう ひさい いこう まびちょうかわべちく ちいきぼうさい じんりよく
西日本豪雨で被災して以降、真備町川辺地区で地域防災に尽力されている
まきはら こうし むか ちいき じゅうようせい ひごろ そな
榎原さんを講師に迎え、地域のつながりの重要性や日頃からできる備えにつ
いてわかりやすくお伝えします。

2025
12/10(水)

10:00～11:30(受付9:30～)

ゆめトピア長船 健康スタジオ
せとうちしおさふねちょうはじ
瀬戸内市長船町土師1175-1

30名(申し込み必要、参加費無料)

もうしこみしめきり
申込締切

2025/12/5(金)

キッズスペースあり
(おもちゃ、ぬりえをご用意しています)



©Setouchi City

第1部

こうえんかい
講演会(50分)



こうし
講師

かわべふっこう プロジェクトあるく 代表

まきはら さとみ
榎原 聡美さん

第2部

クロストーク(30分)

しんこうやく
進行役

おかやまけんだんじょきょうどうさんかくすいしん
岡山県男女共同参画推進センター

みはら やすえ
三原 保江さん

講師プロフィール

榎原 聡美（まきはら さとみ）さん

川辺復興プロジェクトあるく 代表。

岡山県総社市出身。川辺地区まちづくり推進協議会防災部長。保育士・防災士。

夫と高校生・専門学生の子ども2人と暮らす4人家族。

平成30年西日本豪雨災害により自宅が全壊。再建しながら地域の支援活動を始め、「川辺復興プロジェクトあるく」を結成。

防災講演は200回を超え、NHK「明日をまもるナビ」「あさイチ」「NHKスペシャル」「NHKラジオ マイあさりポーター」など、テレビやラジオ番組にも多数出演。自身の経験をもとに、イメージしやすく分かりやすい防災を発信している。

【川辺復興プロジェクトあるく】

平成30年西日本豪雨により、岡山県真備町川辺地区のほぼすべての家屋が浸水。再びこの地で生活を希望する人が「帰ってきてよかった」と思える地域にするため、被災住民が中心となって活動をしている。つながりづくりのサロンや安心して暮らすための地域防災など住民の心の復興の一役になっている。

【団体受賞歴】

2020年 地域再生大賞 優秀賞

2021年 岡山県備中県民局 地域づくり推進賞（県民局長賞）

2023年 令和5年度防災功労者防災担当大臣表彰

2024年 土木学会安全問題討論会24デザイン部門 審査員特別賞（防災おやこ手帳）

申し込み方法

※個人情報はこの事業にのみ使用します。

WEBでの申込

右の二次元コードをよみとり、
申込フォームに必要事項を入力してください。



メール・電話での申込

瀬戸内市総合政策部ダイバーシティ推進室

メール diversity@city.setouchi.lg.jp

電話 0869-22-3922

（8：30～17：15（土日祝日を除く））



手話通訳・要約筆記有

ヒアリンググループ有

マイクを通して音声を直接
補聴器や人工内耳へ伝え、
発信者の声をはっきりと聞
くことができる設備のこと
です。



©Setouchi City